

令和6年2月4日（日）西区スポーツセンター中体育室にて、普及委員会軽スポーツ研修会（広島市学区体育団体西区連合会主催）を開催しました。「スポーツで地域に笑顔を」と今年はバウンズボールを地域のみなさんへ普及振興の目的で行ない、各学区から3～4名、スポーツ推進委員35名の総勢80名が参加しました。最初にスポーツ推進委員の研修部からバウンズボールの競技説明があり、その後デモンストレーション、学区対抗の交流会を行ないました。多く参加者がバウンズボールは初めてで、70歳以上の参加者は、タスキをかけ、ツーバウンドで返球できるという特別ルールもあり、年齢関係なく誰もが一緒に楽しめるスポーツで大変盛り上がりました。

バウンズボールとは、鳥取県発祥で、年齢や性別を問わず楽しめる生涯スポーツとして考案され、3人1組を基本として、柔らかい専用のボールをバウンドさせながら手のひらで打ち合うスポーツです。2024年の「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」のふれあいスポーツ交流大会でも開催されます。

★開会式★



★競技説明★



★交流会★

